日刊 動労千葉
82.12.8
No1214
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二－八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

臨調・行革粉砕！ 三里塚ジェット闘争勝利！

動労「本部」を弾劾・一掃し 国鉄労仂運動の爆発をかちとろう

12・4 新小岩支部定期大会ひらかる

支部通信員発

新小岩支部第5回定期大会は12月4日機関区講習室において12時より開催された。大会は来賓に、山口副委員長、布施交渉部長、中江顧問および葛飾区労協代表の参加のもと、国鉄労仂運動解体・既得権剝奪攻撃とたたかい、〝第二鉄労〟になり下った動労「本部」を弾劾一掃し、国鉄労仂運動の戦闘的爆発をかちとる方針を確立した。

ねばり強く闘い、全員で前進してきた82年 ＝松崎支部長あいさつ＝

大会は議長に備運分科の太田代議員を選出して進められた。冒頭、松崎支部長が挨拶にたった。支部長は、この一年間の闘いをふりかえりながら、政府・国鉄当局・動労「本部」革マルによる国鉄労仂運動解体・動労千葉破壊の攻撃に断固反撃し闘いぬいてきたこと。そして、5・23反核東京集会、10・11三里塚大集会、10・24大阪反核集会など、戦争に反対する闘いを全力で担いぬいてきたこと。さらに、国鉄労仂運動解体攻撃、とりわけ貨物大合理化を狙う「57・11ダイ改」にねばり強く闘ってきたこと。これらを闘った力で83年政治決戦―反動中曽根内閣打倒にたち上ろう。とりわけ中江選挙に総力をあげて勝利しよう。新小岩支部組合員は今日を機に一人一人が活動家になろうを合言葉に闘おう、と訴えた。

闘う国鉄労仂運動を守れ！ 船橋市議選に必勝を！＝中江顧問が力強く決意表明

続いて来賓の中江昌夫氏より、本来なら自分も新小岩支部組合員として代議員席に座っているところだが、と話しながら、船橋市議選に立候補が決まり何とか事務所びらきにこぎつけた。今政治・経済ともにたいへんな時だが、敵・資本も苦しい時だ。今こそ活動家が先頭に立って血路をきりひらき、全員で起ち上る時だ。動労「本部」は資本の側に組みこまれてしまった。動労千葉は今や全国の闘う国鉄労仂者総体を支え指導する役割を増々課せられている。動労「本部」革マルを使っての当局の〝国労つぶし〟の攻撃に対し、われわれは国労を支え、国鉄労仂運動を守り、戦闘的に発展させる為に連帯して闘わねばならない。中曽根警察内閣の反動攻撃を許すな。そのためにも私は来年4月の選挙に勝ち、労仂運動と地域運動を結合して闘っていきたい。絶大な御支援をお願いしたい、と力強い挨拶をうけた。

葛飾区労協代表から改憲・増税を狙い、軍拡とロッキードかくしの田中体制たる中曽根内閣を打倒しよう、との訴えがあり、最後に本部山口副委員長から、「57・11ダイ改」「パス」「現協」をめぐるこの間の経過にふれながら、動労「本部」革マルの大裏切り＝〝第二鉄労〟化を弾劾し、国鉄労仂運動から一掃のため闘おう。三里塚―国鉄を軸とした83年政治決戦にむけて闘おう、との挨拶をうけた。

国鉄労仂者の敵＝動労「本部」革マル粉砕・一掃を確認

「経過報告」を武井副支部長から、又、会計報告・会計監査報告の後「方針」が若林書記長から提起された。経過報告・方針は、この一年間の闘いの勝利を確認し、「一人一人が活動家に」の合言葉のもと闘おう、「本部」派との対決・一掃を強化しよう、と提起された。

続いて、「パス問題」「転勤・転換教育」「中江選挙」等についての意見質問がなされ、討論ののち、全報告と方針を全員の圧倒的拍手で確認し決定した。

最後に全員で組合歌を合唱し、松崎支部長の音頭で団結ガンバローを三唱し、第5回支部大会は成功裡に終了した。

12・10 仲裁々定完全実施・人勧凍結粉砕・中曽根政権打倒！
'82秋季年末闘争勝利 動労千葉総決起集会
基調報告＝中野書記長／12月10日14時／千葉転講習室

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！